

地域活性化総合特区：

奈良公園観光地域活性化特区

概要版



平成24年9月

奈良県

奈良公園観光地域活性化特区の概要

◆ 奈良公園の概要

- ・ 明治13年に開園した県立都市公園であり、年間1,300万人以上が訪れる日本を代表する観光地
- ・ 世界遺産「古都奈良の文化財」をはじめとして、数多くの文化財が点在
- ・ 大阪市や京都市から半径20km圏内、神戸市から半径60km圏内で京阪神からのアクセスが良好
- ・ 市街地に隣接し、鉄道駅（近鉄奈良駅、JR奈良駅）からのアクセスも良好
- ・ 周辺社寺（春日大社、興福寺、東大寺）等と都市公園が入り組んでおり、一体が奈良公園
- ・ 奈良公園の文化財や景観は、文化財保護法や古都法等の法規制により保護・保全
- ・ 天然記念物奈良のシカが生息し、奈良公園の周辺は独特の景観
- ・ 奈良公園の価値は自然資源、歴史・文化資源、公園資源とそれらが融合した風致景観

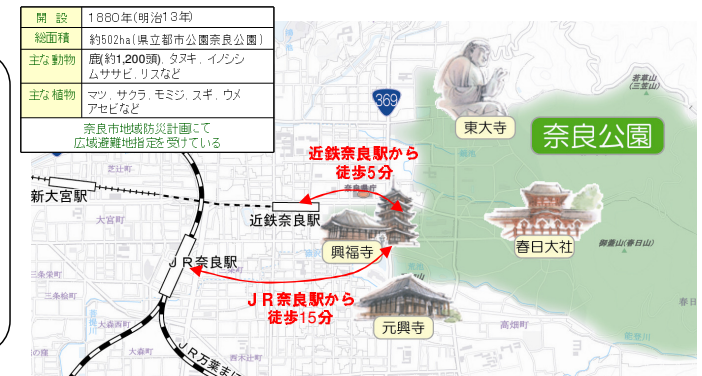


図1 奈良公園の位置

◆ 取組の実現を支える地域資源等の概要

自然資源

自然環境を構成するもの

- ① 特別天然記念物：
 - 春日山原始林（世界遺産）
- ② 天然記念物：
 - 奈良のシカ、ルーミスンジミ棲息地、春日大社ナキ樹林、知足院ナラノエザクラ など
- ③ その他：
 - 奈良公園周辺の眺望
 - 若草山
 - 片岡梅林
 - 巨樹、名木（良杉、衣掛柳 など）
 - 御蓋山（春日山）、手向山
 - 吉城川、率川
 - 松（日本の名松100選）、桜（日本さくら名所100選）、杉、楓 など
 - 参道（東大寺参道、春日大社参道）、堀 など



歴史・文化資源

歴史・文化的背景をもつ建造物、美術工芸品、遺構、行儀等

- ① 国宝（建造物）：
 - 東大寺金堂（大仏殿）、興福寺五重塔、春日大社本社
 - 正倉院正倉、新薬師寺本堂、元興寺極楽坊本堂 など 全19件
- ② 重要文化財（建造物）：
 - 旧春日大社板倉（円窓亭）、旧帝国家奈良博物館（なら仏像館）
 - 旧奈良県物産陳列所（仏教美術資料研究センター） など 全28件
- ③ 国宝・重要文化財（美術・工芸品）：
 - 銅造盧舎那仏（東大寺大仏）、
 - 乾漆十大弟子立像（興福寺阿修羅像） など 全374件
- ④ 史跡、名勝：
 - 史跡東大寺旧境内、史跡春日大社境内、史跡興福寺旧境内、
 - 史跡鷺塚古墳 など 全11件
 - 名勝奈良公園、名勝依水園、名勝旧大乗院庭園 全3件
- ⑤ 遺構：
 - 東大寺講堂跡、東塔跡、西塔跡、興福寺金堂跡、南大門跡 など
- ⑥ 世界遺産：
 - 東大寺、興福寺、春日大社
- ⑦ 伝統的行儀等：
 - 重要無形民俗文化財：春日若宮おん祭りの神事芸能 全1件
 - その他：東大寺二月堂修二会、采女祭、若草山焼き、
 - 春日大社万燈籠、東大寺万灯供養会、
 - 鹿の角切り、鹿寄せ、興福寺新御能、芝能 など
- ⑧ 文化施設（展示・催しを含む）：
 - 奈良国立博物館、寧楽美術館、奈良市写真美術館
 - 春日大社宝物館、興福寺国宝館、東大寺総合文化センター など



公園資源

公園利用に資するもの

- ① 池：
 - 猿沢池、鷺池、荒池、みとり池、三社池、東大寺鏡池、
 - 大仏池、氷室神社鏡池
- ② 文化施設：
 - 吉城園（主棟・庭園）、旧世尊院、旧志賀直哉邸、入江泰吉旧居
- ③ 園地：
 - 聖大路園地、春日野園地、浮雲園地、みとり池園地 など
- ④ 公園施設など：
 - 浮見堂、五十二段
 - 新公会堂（コンベンション施設、レストラン、庭園）、
 - シルクロード交流館（レストラン）、国際奈良学セミナーハウス
 - 文化会館、美術館、県庁舎、鹿苑
 - 公園内便施設（四季亭、クィーンアリスなど） など
- ⑤ 行儀等・イベント：
 - なら燈花会、なら踊り絵 など
- ⑥ 休養施設：
 - トイレ、四阿、休憩所、ベンチ など
- ⑦ その他：
 - 県庁屋上からの眺望
 - 園路、公園内遊歩道、奈良奥山ドライブウェイ
 - 観光案内所、観光案内版
 - ライトアップ施設、夜間照明
 - 駐車場、公園内移動施設（くるっとバス）
 - 古都買入地 など



奈良公園観光地域活性化特区の概要

★ 奈良公園の現状

◆ 奈良県の現状

- ・ 奈良県への観光客は約3,500万人／年で、奈良公園周辺（奈良市）へは県全体の約1/3の約1,300万人／年の観光客が訪れており、奈良公園は奈良県の観光の中心的な役割を担っている。
- ・ 奈良県の宿泊施設数は全国で43位、客室数は最下位となっており、宿泊者の受け皿が十分に確保されていない。
- ・ 奈良県では、地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創るため、「経済の活性化」を3つの柱の1つとして掲げており、観光振興を重要な政策課題としている。

◆ 他都市との比較（H22）

- ・ 奈良市は観光客数が1,842万人／年、宿泊者数が200万人／年で、近隣の観光地である京都市の観光客数の約4,900万人／年、宿泊者数の約1,300万人／年と比較しても大きく下回っている状況。
- ・ 奈良市の宿泊者数の割合は約10%であり、京都市の約26%、同様の観光地である金沢市の約30%と比較しても大きく下回る低い水準。
- ・ 奈良市と京都市の観光消費額を比較すると、宿泊客では約29,000円／人、日帰り客では約7,000円／人と、ほぼ同額であるが、奈良市は宿泊者数が少ないことから一人あたりの平均観光消費額は9,000円／人となり、京都市の13,000円／人を大きく下回っている状況。

◆ 地域の現状と政策課題

【現状】

- ・ 奈良公園周辺への観光客は、ならシルクロード博覧会（S63）時に1,606万人／年、平城遷都1300年祭（H22）時に1,842万人／年と大きな盛り上がりを見せるものの、一時的なものに留まっている。
- ・ 奈良公園周辺への観光客に対する宿泊者数の割合は約10.6%（H22）であり、全国平均の約15.4%を大きく下回っている。

【政策課題】

- ・ 奈良公園周辺には自然、歴史、文化、公園資源を数多く有しているが、これら資源の「維持」、「利活用」が不十分である。

資源の「維持」に関する課題

- 外来種による春日山原始林の荒廃
- 樹木の生長による眺望の阻害
- 「奈良のシカ」による交通事故の増加
- 伝統的行祭事の維持・継承
- 景観を構成する池の土砂堆積
- 公園施設の老朽化
- 県有建築物の老朽化・低未利用 など

資源の「利活用」に関する課題

- 自動車と歩行者の動線の交錯
- 観光バスなどによる交通渋滞
- 高齢者等の移動困難
- トイレ等の老朽化など周遊環境の不備
- 情報発信・提供の不足
- 古都買入地の低未利用
- 若草山の入場者数の減少 など

- ・ 史跡を含めた貴重な文化財等の維持・利活用が進んでいない。
- ・ 奈良公園周辺は厳しい法規制により、宿泊施設の更新が進まないなど、宿泊者へのもてなしが不足している。

表1 奈良公園への観光客数と宿泊者数（H14～H23）

	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
観光客数（千人）	13,899	13,930	12,933	13,050	13,468	13,883	14,351	13,996	18,415	13,135
宿泊者数（千人）	1,978	1,994	1,977	1,928	2,063	2,188	2,284	1,426	1,956	1,356
宿泊率	14.2%	14.3%	15.3%	14.8%	15.3%	15.8%	15.9%	10.2%	10.6%	10.3%

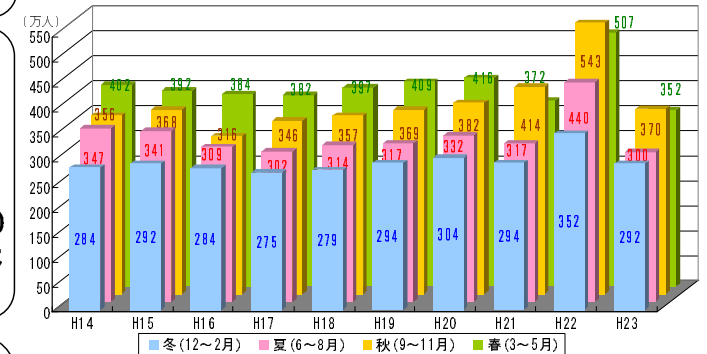


図2 奈良公園への季節別の観光客数（H14～H23）

表2 奈良市と他都市との比較（H22）

分野	項目	単位	奈良市	京都市	金沢市
観光入込客数	観光入込客数総数	(千人)	18,415	49,555	8,152
	観光入込客数（宿泊）	(千人)	1,956	13,100	2,516
	観光入込客数（日帰り）	(千人)	16,459	36,455	5,636
	宿泊率（宿泊÷全体）	%	10.6%	26.4%	30.9%
観光消費額	総観光消費額	(百万円)	166,130	649,154	—
	一人あたり観光消費額	(円／人)	9,021	13,100	—
	一人あたり観光消費額（宿泊）	(円／人)	29,405	29,740	—
	一人あたり観光消費額（日帰り）	(円／人)	6,564	7,120	—



写真：老朽化し低未利用の県有施設（旧青少年会館）



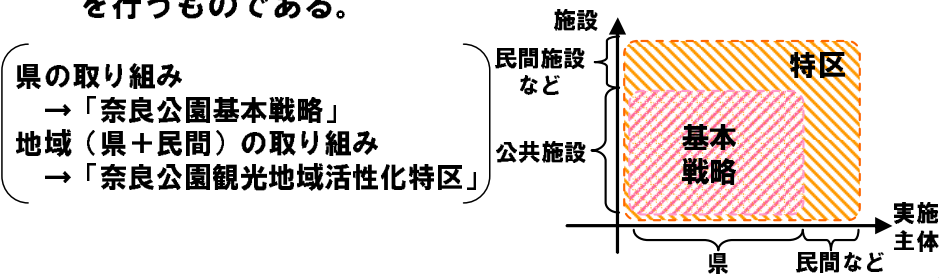
写真：観光バスによる渋滞
2

奈良公園観光地域活性化特区の概要

★ 奈良公園における取り組みのスキーム

◆ 基本戦略と特区の考え方

県は奈良公園の現状と課題を踏まえ、奈良公園の更なる魅力の向上や地域の活性化を図るため、県が主体となって取り組む「奈良公園基本戦略」を策定し、さらに地域が主体となって取り組む「奈良公園観光地域活性化特区」の申請を行うものである。



★ 奈良公園でのこれまでの取り組み

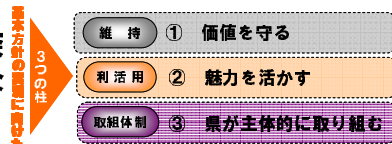
奈良公園基本戦略の策定（平成24年2月）

◆ 策定の目的

一人でも多くの方に奈良公園へ訪れてもらうため、奈良公園の抱える課題を解決し、奈良公園を名実ともに「世界に誇れる公園」にしていくことを目指すものとして、基本的な考え方や今後の方向性を整理し、重点的な取組をとりまとめる。

◆ 基本方針

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の価値を積極的に維持し、更なる魅力の向上や魅力の創出に努める。



◆ 具体的な取組み（抜粋）

【維持】

- 春日山原始林の再生
- 奈良のシカの適切な保護・育成
- 奈良公園の植栽計画の策定
- 奈良公園への行祭事の支援
- 吉城園主棟の改修
- 植生植栽の適切な維持管理 など

【利活用】

- 歩道の整備
- 周遊バスの導入
- 登大路駐車場のターミナル化
- 案内サインの整備
- 水辺空間の有効活用
- 高畑町周辺地区の整備 など

★ 特区申請の目的と姿勢および基本方針

◆ 特区申請の目的

奈良公園を「世界に誇れる公園」にするため、奈良公園の自然、歴史・文化、公園資源の「維持」、「利活用」を進め、社寺や宿泊事業者など民間と連携し、更なる地域の活性化を図る。

◆ 特区申請にあたっての県の姿勢

県は特区申請に併せて、基本戦略の推進、基金の創設や観光拠点と宿泊施設を結ぶバスの運行など地域独自の取り組みを行い、更なる地域の活性化を図るため、県が責任をもって推進する。

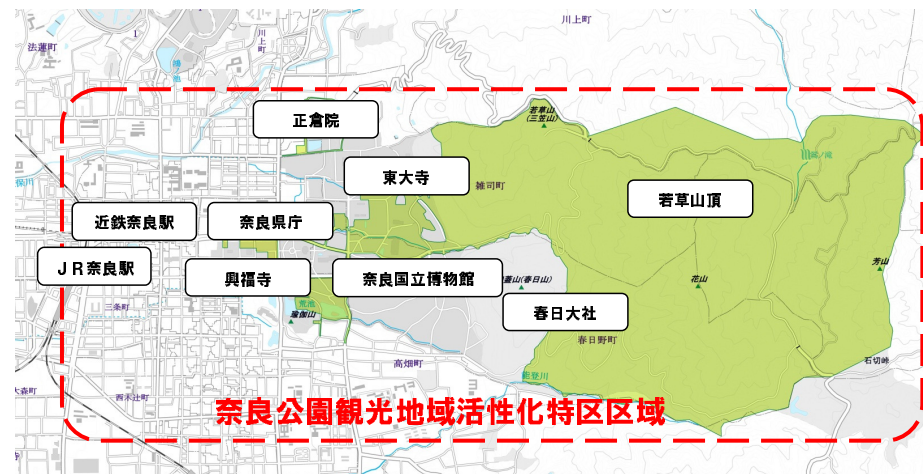
◆ 政策課題に対する解決策

- ① 奈良公園基本戦略の推進
② 歴史・文化資源の維持・利活用
③ 滞在型観光の推進

★ 総合特別区域の区域

〈区域設定の考え方〉

都市公園奈良公園や周辺社寺、観光拠点への来訪者を考慮し、奈良公園周辺に着地する地点から目的地および奈良公園周辺を周遊する経路を含むエリア（＝奈良公園基本戦略対象エリア）



奈良公園観光地域活性化特区の概要

★ 取組を支える具体的な事業

区分		No.	取り組み	特例措置				関係 省庁	地域の 責任ある 関与
				規制 緩和	税制 特例	財政 支援	金融 支援		
奈良公園基本戦略の推進	奈良公園基本戦略の着実な実施	1	奈良公園基本戦略に基づく取組みの推進	-	-	-	-	-	○
		2	地域自主戦略交付金の国費率の嵩上げ	-	-	○	-	内閣府	-
	奈良公園基本戦略の重点的な実施	3	天然記念物奈良のシカの交通事故減少に向けた取組みの実施	-	-	-	-	-	○
		4	奈良公園の眺望や風致景観の保全に向けた取組みの実施	-	-	-	-	-	○
歴史・文化資源の維持・利活用	周辺社寺の文化財等の維持および利活用	5	往時をしのぶ建造物の復元や文化財の修復等を目的とした基金を県が創設	-	-	-	-	-	○
		6	往時をしのぶ建造物の復元と一体となった境内地整備に係る、都市公園法第16条に規定される都市公園の保存要件の緩和	○	-	-	-	国交省	-
		7	周辺社寺の境内地整備など県と社寺との連携による奈良公園の一体整備の推進	-	-	-	-	-	○
		8	文化財保護法第125条の現状変更許可の権限委譲	○	-	-	-	文化庁	-
滞在型観光の推進	宿泊施設の建て替え等による魅力向上	(8)	文化財保護法第125条の現状変更許可の権限委譲（再掲）	○	-	-	-	文化庁	-
		9	宿泊施設の改修に必要な低利融資をする金融機関に対して利子補給金を支給	-	-	-	○	内閣府	-
	宿泊に関するサービスの充実	10	旅行業法第3条および第11条の2の旅行業者代理業の登録免除	○	-	-	-	国交省 観光庁	-
	外国人観光客への観光案内の充実	11	奈良を熟知した通訳案内士による外国人観光客への観光案内を実施	○	-	-	-	国交省 観光庁	-
	周辺観光施設等との移動の快適化	12	社寺を含む周辺の観光施設と宿泊施設を巡るバスを運行	-	-	-	-	-	○
	オフシーズンの誘客対策の実施	13	オフシーズンにおける県が支援するイベントの実行委員会に対する基金を県が創設	-	-	-	-	-	○

奈良公園観光地域活性化特区の概要

★ 地域協議会の活動状況

平成23年度 奈良公園基本戦略を策定
 平成24年度 地域協議会設立
 第1回地域協議会開催 ※ 順次、地域協議会を開催

★ 地域協議会のメンバー構成

周辺社寺関係 : 春日大社、興福寺、東大寺
 旅館・ホテル関係 : 奈良市旅館・ホテル組合
 商業・金融関係 : 奈良商工会議所、(株)南都銀行
 交通関係 : 西日本旅客鉄道(株)、近鉄日本鉄道(株)、奈良交通(株)
 NPO等 : なら燈花会の会、なら瑠璃絵実行委員会
 行政機関ほか : (社)奈良市観光協会、(財)奈良県ビジターズビューロー、
 奈良市中心市街地活性化協議会、
 奈良国立博物館、奈良市、奈良県

★ 事業全体の概ねのスケジュール

平成24年度～平成25年度
 → 現行事業を継続。実施可能なものから順次実施
 平成25年度～平成33年度
 → 各事業を本格的に展開
 ※ 事業の効果・検証し、評価・改善を実施

★ 地方公共団体等における体制の強化

奈良公園室の設置(平成23年4月)

県土木部まちづくり推進局に奈良公園室を設置し、奈良公園に関する事業をワンストップで実施

★ 事業実施のイメージ



★ 目標と経済効果

■ 目標

平城遷都1300年祭(H22)の賑わいを継続

- ◆ 年間観光客数
1,314万人(H23) → 1,842万人(H33)
- ◆ 年間宿泊者数
136万人(H23) → 196万人(H33)

■ 経済効果

484億円(H33-H23)

※ H24年およびH33年の観光消費額はH22年の原単位から算出

